

「キュウリ、作ることに決めたから」。7年前、夫からサラッと出た一言。「えっ!」となつたものの、心配より「楽しそう」が勝りました。やる気満々で賛成してしまいました。

夫の家は代々農家というわけではなく、祖父母が昔、農業をしていた程度。農業の知識はほぼゼロでしたが、土地や農機具があり、ほ場を貸してくれる優しい近所の方々もいました。知人のキュウリ農家を「お師匠さま」と仰ぎ、自宅裏に借りた畑でキュウリ作りを始めました。見るもの触るのが新鮮で、樂しかった最初の1年。こんなこともありました。

ある蒸し暑い夏の日、私はキャミ

ソールにハーフパンツという格好で露地キュウリの収穫をしていました。ご近所さんから「グラジャー姿で仕事していた」なんて、うわさになりました。いやいや、なったこともあります。いやいや…。布拉じないです(不違う! そういうことじゃない)。キヤミソールです。こんなおバカな体験も楽しい思い出です。

あれから7年。農業を始めた当初は小さかった3人の息子たちも大きくなりました。子育てに悩み苦しむこともあるけれど、少しずつハウスを増やしながらキュウリを栽培しています。会津で出荷1番乗りを目指します。会津で出荷1番乗りを目指す専門にカボチャや西洋野菜、小松菜、ホウレンソウなども栽培し、会津地方を中心にJAや直売所、道の駅、スーパーなどで販売している。幅広い世代に喜んでもらえるようなキュウリ作りを取り組んでいる。

夫の家は代々農家というわけではなく、祖父母が昔、農業をしていた程度。農業の知識はほぼゼロでした

三男が栽培した野菜を「すえっこ」のうえんとしてお店に並べられたうなど、ワクワクしています。毎日の農作業はツライこともたくさんありますが、達成感や生きている実感が味わえます。何より、私も職人の一人になれるー。何の取りえもなかつた私に、農業という「天職」を与えてくれた旦那さま。ありがとうございます!

■プロフィル■ 会津坂下町で夫と農園「cucufarm」(ククファーム)を経営。37歳の畠でキュウリを専門にカボチャや西洋野菜、小松菜、ホウレンソウなどを栽培し、会津地方を中心にJAや直売所、道の駅、スーパーなどで販売している。幅広い世代に喜んでもらえるようなキュウリ作りを取り組んでいる。



佐々木 美穂さん
(会津坂下町)

ゼロから出発 天職に

ふくしま農業女子ネットワーク
農女びよ



ネットワーク
のロゴマーク



佐々木さん夫婦
が経営する農園
「cucufarm」
のロゴマーク

「天職」の農業を楽しみながら、
キュウリ作りに励む佐々木さん

▶ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）メンバーの思いや農作物、ネットワークの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加メンバーや応援団となる企業・団体も応募も受け付けています。URLは<https://www.fuku-girl.jp/>
問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。